

第3次生駒市環境基本計画策定 第6回市民ワークショップ 実施概要

- 開催日時：平成31年1月14日(月・祝) 13:30～14:30
- 開催場所：生駒市役所 4階 大会議室
- 参加者数：30名(内、事務局関係10名)
- 内容 1. 開会(趣旨説明)
2. 第3次生駒市環境基本計画(案)とパブリックコメントについて説明
3. 質問等(説明内容について)

1. 開会

- ・環境モデル都市推進課より、本日のワークショップの開催趣旨と、主に説明するポイントの確認を行いました。

2. 第3次生駒市環境基本計画(案)とパブリックコメントについて説明

●第5回市民ワークショップからこれまでの経過

- ・昨年5月に開催した第5回ワークショップから、第3次生駒市環境基本計画(案)策定までの経過として、環境審議会の開催、パブリックコメントの実施等について説明を行いました。

●これまでの市民ワークショップについての振り返り

- ・これまでの市民ワークショップについて、どんなテーマで取り組み、提案をまとめてきたのかを紹介し、振り返りました。

●第3次生駒市環境基本計画(案)について

- ・現在、パブリックコメント実施中(1/21まで)の第3次生駒市環境基本計画(案)の概要について説明するとともに、ワークショップでの提案が基となっている第3章の望ましい環境像及び第5章のリーディングプロジェクト、今後の予定について説明を行いました。
- ・特に第5章のリーディングプロジェクトについては、第4回・第5回ワークショップで取りまとめた各班からの提案がどの様に計画(案)に反映されているのか、また、リーディングプロジェクトの中で反映できなかった提案については計画(案)のどの部分に反映されているか説明を行いました。
- ・最後に、計画を実現していくためには今回のワークショップ参加メンバーを含めたくさんの市民と共に多様な主体が協働で持続可能な未来へ向けて進めていくことが大切であることを全体で共有しました。

3. 質問等

- ・事務局より、環境審議会で話題となった目標3地球環境の「超低炭素のまち」という表現について、参加者のみなさんへ意見や感想が求められ、地球環境班のメンバーより「良いと思う」という回答と共に、今後も再エネ・省エネなどに関し引き続き知恵を出し、先行事例など勉強を続けながら、具体的な取組へ向けて検討していきたい、との感想をいただきました。
- ・リーディングプロジェクトについては、これまでの取組を活かした発展的な取組として展開できる内容と、新たに立ち上げる必要がありそうなものがあるので、スタートさせる際には工夫が必要である、との提案をいただきました。
- ・リーディングプロジェクトに取り入れられなかった「地域ぐるみの移動サポート」については施策で対応しているとのことだったが、p. 55の表現ではコミュニティバスのみを対象としていると誤解を招くことが危惧される、との意見をいただき、現行の計画である「地域公共交通総合連携計画」はこれまで、主にコミュニティバスを計画の検討対象としていたが、これから策定する「地域公共交通網形成計画」では、都市計画、環境、福祉など幅広い観点で検討を行う予定であることを、事務局よりお伝えしました。
- ・家庭部門のCO₂排出量は削減しにくい分野であり、現在はインターネット通信販売の普及などにより物流関係のCO₂排出量も増えてきている。そのように自分たちがなかなか手を出せない分野がある状況のなかで、大きな観点での「超低炭素」の実現は難しい部分もあるように感じる、との感想をいただきました。
- ・p. 42の数値目標をもって「超低炭素」を目指すということが出来るのか、と質問をいただき、事務局より、p. 42に掲載している1人あたりCO₂排出量は、生駒市の環境モデル都市アクションプランで掲げている中長期目標（2030年度に基準年度比35%削減、2050年度に基準年度比70%削減）を基に今回の第3次生駒市環境基本計画（案）の目標年度である2023年の数値に割り戻したものとなっていることを補足説明しました。

